

北海道文教大学 後援会 後援会 No. 22

CONTENTS

後援会活動の報告	1
学長挨拶	2
キャンパスの現況	3
就職部便り	4

平成31年3月1日(金)

発行責任者 中村 仁
発行係 〒061-1449 北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1
北海道文教大学事務局学務部学生課内
北海道文教大学後援会 TEL.0123-34-0011

平成三十一年度北海道文教大学後援会活動の報告

北海道文教大学後援会 会長 中村 仁



はじめに

会員の皆様におかれましては、日頃から後援会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、皆様もご存じのとおり、平成三十年の「今年の漢字®」には「災」が選ばれました。北海道では胆振東部地震が発生し、今なお仮設住宅での生活を余儀なくされている方々がおられます。幸い本学の学生や保護者には被害が無かったと伺っていますが、今後、学生の安全と学修環境を維持するために後援会として何ができるのか、何をすべきか、大学と協議していきたいと考えております。四月六日(土)には「定期総会」を開催致しますので、このような支援や助成等について、ともにご協力いただける方は是非ご出席いただき、後援会運営にお力を貸していただければ幸いです。

今回の後援会会報二十二号では、下半期の事業についてご報告いたします。

下半期の主な事業

(一) 父母懇談会(大学祭)の食券助成事業

- 一 実施日 平成三十年十月七日(日)
- 二 内容 父母懇談会にご出席された保護者の皆様に、同日開催の大学祭模擬店で利用可能な食券を後援会より提供致しました。

(二) 100円朝食(後期)助成事業

- 一 期間 十月一日(月)～十一月十五日(木)
- 二 内容 朝ごはんの大切さを知ってもらおうと食育の一環としてスタートし、今年で五年目を迎えました。学生はもちろん保

護者の皆様から

もご好評をいただき、来年度も継続を予定しています。今年度より要望が多かったライス大盛り(プラス三十円)を追加しました。



イベントの「100円朝食バイキング」

(三) 災害等対策助成事業

上半期のAED設置事業に続き、災害備蓄品の購入を助成しました。(非常食約二千三百食、保存水四百八十本、非常用圧縮毛布五十枚)

今後の課題は、大学に自家発電設備がありませんので、冬期の停電時における暖房対策です。



本館1階「機械室」に保管

(四) 第二回役員会

- 一 日時 平成三十年十一月九日(金) 十八時三十分～二十時三十分
- 二 会場 ニューオータニイン札幌
- 三 出席者 理事十六名
大学(理事・幹事)五名

四 審議事項

- (一) 中間監査報告
- (二) 100円朝食の実施状況について
- (三) 父母懇談会(金券助成)について
- (四) 災害対策費(非常食等)について
- (五) 卒業記念品及び式支給品について

今後の予定

- (一) 第三回WG(ワーキンググループ)・役員会 WG 平成三十一年三月八日(金)
札幌ガーデンパレス
- 役員会 平成三十一年三月二十二日(金)
えにわステーションホテル
- (二) 平成三十一年度学位記授与式
平成三十一年三月十六日(土) 本学
- (三) 平成三十一年度卒業祝賀会及び同窓会入会式
平成三十一年三月十六日(土)
札幌グランドホテル

おわりに

今年度の活動も三月十六日の学位記授与式・卒業祝賀会を迎えるのみとなりました。後援会役員につきましても、私を含め五名の卒業を受け春の総会にて新体制になります。

この二年役員の皆様をはじめ大学のご協力、そして事務局のご尽力に支えられ活発でより良い活動ができたことに心から感謝申し上げます。

私事ではありますが、後援会活動を四年間させていただきまことは貴重な経験であり、沢山の方との出会いをいただけた素晴らしい時間でした。まだまだ手探りで未熟な後援会ですが、大学と保護者の関係は素晴らしく良好で、北海道文教大学がこれからも学生により良い環境を提供していくことは間違いないと確信しております。会長として二年間、皆様に支えられて職務を全うできました。ありがとうございます。

最後になりますが、卒業生の保護者の皆様、これからも北海道文教大学を応援していきましよう。

ご卒業おめでとうございます。

学長挨拶

北海道文教大学

学長 渡部 俊弘



日頃より後援会の皆様には、本学園及び本学への温かいご支援をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

昨年四月より、北海道文教大学学長に就任して、一年が過ぎようとしています。

前学長 鈴木武夫先生から教育理念を引継ぎ、その考えは継承しておりますので、皆様と手を携えて進んで参りたいと存じます。

また、学校法人鶴岡学園のスタート・原点を見る『北海道・栄養の母 鶴岡トシ物語』を四月には刊行いたします。

本学園の原点には、鶴岡御夫妻が昭和十七年第二次世界大戦中にスタートさせた、教育への強い志があります。

学生さんが、原点を振り返り、鶴岡御夫妻のこの強い志を学べば、マザーテレサが教えているように、思考が変わり、また心が変わり、運命が変わると信じております。

私を含め、教職員が学園の原点を振り返り、さらに教育の質を上げていきたいと考えます。

また、昨今の社会構造の変化が急速な状況の中では、学生さんたちのみの人間教育が難しくなっております。

この状況を鑑みると学生・教職員・保護者の皆様と三位一体の教育が必要となってきます。これまで以上に、後援会および会員の皆様とのコミュニケーションの場を作ることが大切だと思っております。

これからもより一層の御協力をお願い申し上げますと共に、会員の皆様の御健康と御多幸をお祈り致します。

父母懇談会(恵庭会場)において、中村後援会会長が保護者の皆様へ挨拶させていただきました。



挨拶をする中村後援会会長

昨年10月7日(日)に開催された平成30年度父母懇談会(恵庭会場)において、中村後援会会長が時間をいただき、参加した保護者の皆様へ「後援会の運営に興味を持っていただき、子どもたちのために、一緒に大学をサポートしていきましょう」と挨拶させていただきました。

同日開催の大学祭では、模擬店で利用できる金券を後援会より保護者の皆様へ配布させていただきました。あいにくの雨模様にもかかわらず、たくさんの方に利用していただき、大学祭を盛り上げていただきましたことを感謝いたします。ありがとうございました。

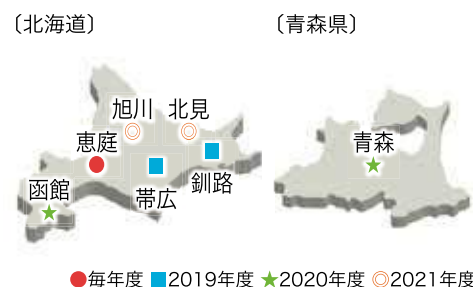


父母懇談会「全体説明会」(恵庭会場)



大学祭(模擬店)

父母懇談会の開催地区



キャンパスの現況

北海道文教大学

副学長 橋内 勇



皆様におかれましては日頃より本学の教育運営に対し、特段のご理解、ご協力をたまわり心より感謝を申し上げます。今年天皇陛下が四月末に譲位、その後、皇太子様が新天皇に即位され、五月より新元号のもとで新しい時代がはじまります。

そのような中、皆様におかれましては残り僅かとなった平成の時代を懐かしく思いつつ、これからの新しい時代に期待を寄せているものと拝察いたします。なお、本学の現状につきましても、平成最後となる平成三十年度の一部をこの紙面にて報告させていただきます。

〔学生数〕

近年は少子化の影響で、全国私立大学の約四割が定員割れの状況となっております。地域別には、大都市圏の大きな大学に学生が集まり、地方の小さな大学で定員割れが顕著になっていきます。とくに地方では一八歳人口及び高卒者の減少が大きく影響しています。本学の学生数は平成三十年五月二日現在、二学部六学科収容定員二千二百人にに対し、二千三百三十五人(充足率九十七%)、大学院四研究科収容定員三十四人に対し三十人(充足率八十八%)となっております。

〔奨学金〕

今年度、奨学金受給の学生は千三百十三人で学生全体の五十五・七%、そのうち多い順より、日本支援機構、北海道文教大学奨学金、市町村その他の奨学金となっております。この結果により、学生の過

半数が奨学金を必要としており、今後も奨学金の充実が望まれます。

〔課外・サークル活動〕

本学の学生は、ほとんどの学科で学外実習が課せられており、そのためサークル活動を円滑に継続しがたい現状にあります。現在四十七団体(体育系二十七団体・文化系二十団体)の公認サークルが活動し、文武両道の学生生活を送っています。個人の活動では、昨年二月に開催された冬季オリンピック平昌大会アイスホッケー女子日本代表、スマイルジャパンで活躍した外国語学部国際言語学科4年高涼風(たかすずか)さんが、恵庭市スポーツ功労者表彰式において、「スポーツ賞」を受賞しました。



(左から)ご両親、高さん、渡部学長、アドバイザーの森谷先生と受賞記念撮影

〔国家試験合格率〕

国家試験を課せられている医療系の学科では、日頃から熱心に学修に取り組んだ成果が現れ、国家試験の合格率が全国平均かそれを上回っています。なお、この高い合格率を達成させるために、後援会からの「免許等取得助成費」が模擬試験や教材の購入等でおおいに役立っています。

昨年度卒業生の国家試験合格率は、管理栄養士九十四・六%(全国平均九十五・八%)、

■平成30年度国家試験日

国家試験名	試験日	合格発表
看護師国家試験	2月17日(日)	3月22日(金)
理学療法士・作業療法士国家試験	2月24日(日)	3月25日(月)
管理栄養士国家試験	3月3日(日)	3月29日(金)



ポスター作製の協同作業をとおして心の距離が縮まります

理学療法士九十六%(全国平均八十七・七%)、作業療法士九十七・八%(全国平均八十三・九%)、看護師においては全員合格の一〇〇%(全国平均九十六・三%)でした。

なお、今年度の国家試験日は上記のとおりです。学生たちの頑張りに期待しています。

〔大学院研究科修士課程の設置〕

本学では大学院に四研究科を設置し、本学の卒業生が、働きながら学び、高度専門職業人や研究者を目指す環境を整備しています。現在、グローバルコミュニケーション研究科、健康栄養科学研究科、リハビリテーション科学研究科、こども発達学研究科で留学生も含めて計三十名の院生が学んでいます。今後は看護系大学院の早期開設が望まれています。

〔新入生宿泊研修〕

今年度も後援会の助成をいただき、新入生宿泊研修を北湯沢温泉で実施しました。新入生四百八十七名、サポート学生六十七名、教職員二十三名の合わせて五百七十七名がバス十六台に分乗しての大移動でした。大学に入学間もない学生にとつて

は、この宿泊研修を通じて皆さんの友人ができて、スムーズにキャンパスライフをスタートできると大変好評でした。なお、三十一年度は四月八日(月)、九日(火)の両日を実施する予定です。

就職部便り

二〇一九年卒の就職環境と学生動向について

北海道文教大学 就職部

四年生が入学した二〇二五年は、就職環境も「氷河期」から「売り手市場」へと大きく変化し、企業の採用意欲が続いています。「就職氷河期」を知らない学生の意識や活動においても変化が見られました。

特に、採用広報活動開始前からインターンシップや業界研究などに参加することで企業・学生間の相互理解の場が多くなり、就職活動本番前に応募先を考え、「早く決め、早く終える」傾向があり、本学の内定状況にも表れています。

一方、「売り手市場」のため就職活動は有利と言われて勘違いをしている学生もいますが、全ての企業が入りやすいわけではなく大手企業や人気企業は変わらず応募者が多く狭き門です。

改めて、自分自身が大切に行っている価値観、強みや弱み、得意分野などの自己分析を行い、そのことが生きるといえるような事前準備が大切です。

また、就職活動は、今までの学生生活と違い、社会や企業のこと、多様な考え方や、価値観の違い、人との出会いが自分自身を理解し深める機会であり、社会で活躍してなりたい自分に近づく大切な活動です。

就職部は現在、二〇二〇年三月卒の就職支援に入っていますが二〇一九年三月卒の学生も卒業式までには社会人のキップ（内定）を全員が持てるように最後まで支援を行います。

各学科の就職活動と学内就職講座・セミナー開催

【国際言語学科】今年度は、四月から内定者が続出しました。五月以降も順調に推移し、前半終了の九月末時点で、八〇%の学生が内々定獲得となりました。

業種別では小売業を中心に、新千歳空港関連の運輸業と、時代を反映して情報通信業が特筆されます。今後は、残された数名の学生に対する就職支援に全力投球する所存です。

【健康栄養学科】就職活動前半は、ここ数年の企業の意欲的な採用活動に歩調を合わせ、積極的に行動する学生が多く見受けられました。ゼネラリストを中心に一部上場企業・ドラッグストア・給食委託企業（道内外）等、内々定の母集団を形成することができました。

隣地実習期間をはさみ、後半戦では、病院や施設・地方公務員（管理栄養士職）の専門職求人に向け、現地見学などの情報収集や応募に活発な動きを見せていました。

【理学療法学科・作業療法学科】就職環境が厳しさを増す中、札幌市以外の求人も視野に入れて、四年次実習終了後から実質的な就職活動をスタートしました。今年度は学内就職説明会でも道外病院が積極的に参加したこともあり、例年に比べて道外での就職内定がやや増える傾向があります。

他の養成校との競合もあり、現時点の内定率は対前年比横這いの状況ですが、国試対策でタイトな日程で活動する学生をしっかりとフォローすることで、両学科とも就職希望者全員の内定獲得を目指します。

【看護学科】就職担当者二名体制でスタートし、学生一人に関わる時間を多く取ることができました。しかし、求人数は前年比一割減で、六月は他養成校との競合や一部医療機関に応募が集中したこともあり、札幌市内の医療機関で不合格となるケースが散見されました。

第一希望の医療機関に就職できない学生がおりましたが、学科と連携し学生をサポートした結果、昨年より二カ月早い十一月末に就職希望者全員が内定いたしました。

【こども発達学科】こども発達学科の内定者業種は小学校教諭・保育士・幼稚園教諭・支援員・民間企業の構成比です。今年には特に小学校教諭内定者が殆ど正職員登録となり、過去最高比率となりました。



本学体育館で開催されたPT・OT就職説明会

なりました。今後各業種で内定獲得を目指す学生に対して、一人ひとりの可能性を引き出し、就職希望者全員の内定獲得を目指し支援していく所存です。

【学内就職講座・セミナー開催】平成三〇年度の開催内容は、別表一覧表を参照ください。今年度も全学科を対象として、ファイナンシャルプランニング（FP）講座・R-CAP受験（自己発見診断テスト）・公務員試験対策講座等の実施を予定しています。

■平成30年度 学内セミナー等開催一覧

実施日時	タイトル	内 容	対 象
平成30年4月6日	公務員模試・ガイダンス	保育士・栄養士地方中級模試	4年生
平成30年4月19日	自衛隊学内業務説明会	自衛隊組織及び業務内容説明会	4年生
平成30年4月25日	留学生就職講座	日本で就職する心構え・方法	3～4年生
平成30年5月14日	就活応援講座	学外就活スペース	4年生
平成30年8月2日	内定獲得セミナー	健康栄養・国際言語・こども発達学科	4年生
平成30年8月10日	公務員チャレンジテスト	公務員試験受験希望者	全学年
平成30年8月22日～28日	FP3級講座	FP3級検定試験対策講座	全学年
平成30年8月30日	PT・OT就職説明会	病院・施設の合同説明会	3～4年生
平成30年10月9日～12日	R-CAP受験	自己発見診断テスト	2～4年生
平成30年10月23日	小論文対策講座	理学療法学科・作業療法学科	4年生
平成30年11月7日・27日	R-CAP解説セミナー	結果解析・就活での活用方法の解説	2～4年生
平成31年1月16日	就職内定者セミナー	全学科就職内定者	4年生（内定者）
平成31年1月16日	FP3級直前対策講座	技能検定試験直前対策講座	2～4年生
平成31年1月28日	北海道警察学内説明会	国際言語学科	3年生
平成31年2月12日～25日	公務員・SPI試験対策講座	公務員・教採・一般企業筆記試験対策	全学年
平成31年3月1日	集団面接&GD対策講座	札幌ドーム合同説明会対策講座	3年生
平成31年3月5日・7日	看護学科就職講座	看護学科就職実践講座	3年生
平成31年3月25日・26日	PT・OT就職講座	理学・作業療法学科合同就職実践講座	3年生